



ピリカはICTの力を使ってポイ捨てゴミ問題の解決に取り組む株式会社です。

(ピリカ=アイヌ語で「美しい」という意味)

個人のゴミ拾いを促進する**ゴミ拾いスマホアプリPIRIKA**と企業・団体が清掃活動を行う際の記録やPRを支援する**企業・団体版ピリカ**の2種類の製品を通じて、これまでに世界67ヶ国から150万個ものゴミが拾われています。



## ピリカの仕組み

### 1. 個人や団体がゴミ拾い



### 2. スマホ、PC等から活動をレポート

### 3. 活動を見える化し、地域のゴミ拾い活動を促進

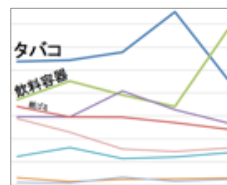
活動を知ってもらいやすくなる  
→PR効果でゴミ拾い人口を拡大

見た人から感謝のフィードバック  
→ゴミ拾いを継続する確率の向上



### 4. ゴミに関するデータを見える化

地域ごと、季節ごとに落ちているゴミの種類や増減を可視化し、自治体の清掃・美化業務の効率化に貢献します。



## 自治体×ピリカでできること

ピリカのシステムやこれまでの活動を通じて得られたノウハウ、ピリカを利用しているゴミ拾いに熱心なユーザーや団体のコミュニティ等を活用することで地域内の美化・清掃の促進や効率化を行う事ができます。具体的には下記のようなお手伝いが可能です。

1. 自治体に関わる地域内の清掃団体への企業・団体版ピリカの導入 (**鎌倉市・京都市**で導入実績あり)
2. 地域内でゴミを拾ったユーザーに対するポイントの付与 (**宮城県・JCBと連携し12月より導入予定**)
3. ゴミ拾い情報を可視化し地域内の清掃活動を促進するホームページの作成
4. ピリカを通じて得られた地域ごとのゴミに関するデータの提供
5. ゴミに関するデータに基づいた美化・清掃業務のコンサルティング

## お問い合わせ先

株式会社ピリカ 代表取締役 小嶋不二夫  
東京都渋谷区恵比寿南3-5-7 恵比寿アイマークゲート2F Open Network Space  
kojima@pirika.org  
080-4021-0939 (代表直通)  
<http://www.pirika.org>



自治体アプリコンテスト(慶應義塾大学SFC研究所 地域情報化研究コンソーシアム主催)  
大賞作品、二次審査対象作品一覧

【全国自治体ICTサミット2013 (2013.11.22)  
配布資料】

<<大賞>>

応募者名	名称	分野	コンセプト (地域課題との関連等)	内容	訴求点 (特徴、アピールポイント等)
株式会社 ピリカ	ゴミ拾いアプリPIRIKA (英名)PIRIKA-cleaning the world-	環境、住民協働	・ポイ捨てゴミ問題の解決を目的とするアプリ ・ゲーム的要素やSNSでゴミ拾いを促進、投稿されたゴミのデータ(場所、種類、個数、写真、時間等)を分析でき、自治体や地域に貢献	利用者はピリカの①ゴミを拾う(写真を共有)、②周囲のゴミ拾い状況(タイムラインとマップ)、③ゴミを拾った他の利用者に感謝(ありがとう機能)を通じて、④ゴミ拾いの充実感、⑤周囲の活動への同調、⑥感謝される嬉しさなど得られ、ゴミ拾い活動を促進・継続	・2011年5月にサービス開始、世界67ヶ国で累計100万個を超えるゴミが実際に拾われている。 ・安心・安全なコミュニティ(①優しい穏やかな利用者、②強固な管理システム(自動、一般ユーザー、管理者の3者が不正投稿を監視))

<二次審査対象作品(社名かな順)>

アップマーケティング	Facebook 運動機能付き スタンプラリーアプリ	地域活性、商店街	・観光地や商店街独自のスタンプラリーアプリを使った来客誘致 ・Facebookで情報発信しつつ、同じ情報を独自アプリからも伝える	・観光地や商店街独自のマーケティング用スタンプラリーアプリを作成 ・Facebookとの運動機能を使って情報発信	・観光地や商店街へのチェックインでポイントを付与(GPSベース)で、観光地を訪れるきっかけに ・スタンプを全て集めることでクーポン配布が可能 ・Facebookウォールと連携し、情報をアプリ内でも確認 ・観光地やお店のイメージに合わせたデザインを適用 ・PUSH通知機能
株式会社 協和エクシオ	EXTravel (訪日観光客向け防災観光アプリケーション)	観光(多言語)	・デジタルジャパン、東京オリンピック開催に向け、訪日観光客に防災と観光コンテンツを提供し、地域の活性化	・日/英/韓国/中国(繁体/簡体)対応 ・(防災)J-ALERT対応、オフラインでも近くの避難所へ誘導 ・(観光)音声含む観光情報、観光お勧めルート表示、クーポン提供 ・Facebook、Twitterとの連携、カメラ撮影 ・地元コールセンターと連携したチャットコンシェルジュサービス	・観光と防災に同一アプリで対応 ・訪日旅行者が懸念する災害発生初期時の避難誘導を実現 ・オフラインでもサービス制限で利用可能 ・日本初のコンシェルジュサービスを提供
株式会社ケイズ	JAPANAiRMap	観光 (AR)	・観光促進による地域活性化目的 ・ARによる直観的な観光地の表示や目的地付近オススメ情報提供 ・ご当地キャラと一緒にバーチャル記念撮影 ・日、英、韓国の3カ国語対応	・SaaS型で提供し、自治体などが情報を登録 ・契約の初期費用と月々の従量制利用料 ・AR技術とGPS位置情報を利用し、端末のカメラ映像に登録情報を重ねて表示 ・地図表示、詳細説明、動画、リンク、記念撮影等が可能	・自治体などの契約者が信頼できる情報を登録 ・エンドユーザは利用登録などは不要、すぐ直観的に使える ・観光以外にもスタンプラリーやフォトコンテスト等幅広く利用可能 ・ご当地キャラなどバーチャルな記念写真 ・期間限定での利用も可能
湘南Apps!	にげるーと ～みんなで作る防災マップ～	防災(ルート表示)	・津波、災害時に自分の現在地(GPS)から避難所への避難ルートを表示する防災アプリ ・藤沢市、鎌倉市を中心とした湘南地域の防災アプリとして実装化し、他の各自治体への横展開も	・場所、高度(海拔)を考慮した避難ルートを提供 ・事前にデータをダウンロードすれば通信状態の有無に関わらず利用できる ・平時には、自治体、学校等の民間の開催する避難訓練にも活用できる ・情報提供主体別のレイヤー構造	・気象情報、過去の地震被害データ、土砂崩れ情報等を取り込める拡張性とレイヤー構造 ・データの事前ダウンロード利用が可能 ・開発時には自治体と連携
TIS株式会社 公共・宇宙事業本部 公共ソリューション推進部	クラウド型 防災情報システム「Bousaiz」(ボウサイズ)	防災(情報共有)	・自治体職員の安否確認をはじめ、画像や地図情報を含む様々な情報を共有し、災害時の迅速な初動対応を実現するクラウド型「防災情報システム」	・平常時の防災対策から、安否確認～非常参集～情報収集～対策本部設置などの初動期対応を支援 ・災害時の避難所や災害協定先、民生委員や医療、福祉施設などと連携する防災情報システム	・災害通知により災害掲示板が自動起動し、安否情報、職員参集、災害対応指示等を収集管理 ・地図と連携した投稿写真で、被害状況や交通状況を共有 ・平常時はコミュニケーションツールとして活用 ・マルチデバイス利用可 ・低コストで災害に強いクラウド型システム
富士通株式会社	ONE MAP ～より良い街づくりの想いを一つの地図に込めて～	地図	・コンセプトは「地図に描く街づくり」 ・解決する地域課題は、①高齢者の見守り、②災害時の状況把握共有、③市民の声収集、④インフルエンザ等の流行把握、⑤滞納者への催告他	・自治体専用のGoogleMAPを用いて任意の情報を蓄積・閲覧するアプリ ・1つのアプリで複数の業務に利用可能	・スマホ、タブレット、PC全ての環境で利用可。 ・クラウド型で、1日で立ち上げ可能で、堅牢、年4回地図更新 ・ユーザー毎の細かい権限管理